



現代社会における転勤問題についての、転勤族の妻による取り組み事例、その実証結果  
～3年間のワークブランクがあっても、地域活動経験により、会社員に復帰したケース～

2017年6月22日（2019年2月1日追記）

転勤族協会 TKT48／ワークスタイル・クリエーション 奥田美和

<http://tkt48.net/> / <http://www.it-workstyle.jp/>

miwa.okuda@gmail.com

## 1. TKT48 代表の転職歴

### ① 1997/4～1999/3【東京】

大学卒業後、総合職 SE として金融系システム会社に入社。2000 年対応の担当になり、250 業務を把握する。入社 2 年目で第一種情報処理技術者の国家資格を取得する。  
(正社員 2 年／COBOL／プロジェクトマネジメントの基礎を学ぶ)  
→ 転勤で遠距離恋愛になった、大学時代からの彼との結婚を選び、「転勤族の妻」に。

### ② 1999/9～2000/3【新潟】

長岡市には IT 企業がほとんどなく、あっても社員は東京に出稼ぎ。派遣会社への登録は「正社員 3 年以上」。何とか見つけ「東京の大企業で働いていたなら」と採用になった全国チェーンの PC スクールにて、マンツーマンのインストラクターとなる。(パート 7 か月／人材教育が得意になる)  
→ 地方での職探しについての悩みを語れる転妻仲間が欲しくて、先輩転妻が運営していた「転勤族の妻の会」Web サイトにたどり着く。東京転勤時に「東京 BBS」管理人に。

### ③ 2000/7～2001/2【東京 1-1】

派遣会社へ登録し、建設コンサルタント会社で SE。(COBOL／派遣 8 か月)  
→ COBOL という古いスキルしかない SE だと、この先転職できなくなるので、キャリアアップのために転職を決意。

### ④ 2001/4～2004/6【東京 1-2～4】

メーカーの 4 次請け IT 企業へ転職。正社員だが、派遣先に常駐という特定派遣。  
④-1：①で指示を出していた協力会社さんの下請けの下請けのポジションで作業。  
(COBOL／正社員だが派遣 6 か月)  
④-2：自治体の財務会計システム開発を行っている IT 企業へ派遣。①の大企業での経歴を買われて、いきなり新規開発のサブリーダーに。(VB／正社員だが派遣 1 年／業務分析が得意になる)

④-3：派遣先の新人や協力会社のベテランの方まで教育しつつ、SEとしての技術スキルを極めていたところ、自社が倒産。隣の席の方の会社へ転職。(VB.NET/契約社員だが派遣1年9か月)(ここまでトータル3年3か月)

※IT業界では、「元請けか下請けか」「正社員かフリーランスか」によるヒエラルキーがあるが、偶然「スキル・人柄」を重視してくれる方々と一緒に仕事ができる。

⑤ 2005/3～2008/3【タイ】、2008/4～2009/3【大阪】

④で燃え尽きたので、タイと大阪では「半分観光客・半分住民」視点で、駐在妻・転妻仲間と街歩きを楽しみ、タイも大阪も大好きになった。これがTKT48の原点。(旅行記ブロッガー4年)

→そろそろ会社員復帰しないとブランクが空きすぎると思い、ベネッセのICTサポーターに応募・採用されるも、1週間後に東京転勤辞令。

⑥ 2009/7～2011/6【東京(千葉) 2-1】

国立大学精神科関連の教授秘書に応募したところ、大学心理学科卒&元SEなら研究で使うITに詳しそうと、倍率80倍の中から採用決定。(秘書&技術補佐員2年)

→研究室のWebサイト作成、学生時代に専攻していた統計処理などの経験は積めたが、システム開発については協力会社に指示を出す立場。「IT業界に戻りたい!」と強く思い、派遣に登録するが、やはり技術者としてはブランクが空きすぎていた。

→CDAというキャリアカウンセラーの勉強をし、IT企業でキャリア相談の仕事をするかと思うものの、東日本大震災発生。未経験では採用不可という状況に。

→同時に通っていたWeb関連スクールの通学歴(=ブランクがない)と、研究室のWebサイト(=実務経験)により、派遣でWeb制作会社の仕事が決まる。

⑦ 2011/7～2012/2【東京(千葉) 2-2】

未経験でスタートアップのWeb制作会社に派遣されたが、趣味でWebサイト作成&スクールに通った知識だけでは、指示された作業をWeb業界ならではの短期間でこなすのは一杯一杯に。この時、PCに向かってコツコツ作業(下流工程)より、お客さんと直接話して悩みを聞き設計書に落としてシステム開発をする(上流工程)の方が向いていると悟る。(コーダー/派遣8か月)

→過酷な労働状況により、妊娠・出産後は仕事を続けることができずに辞めてしまうIT業界の女性のサポートをする仕事をしたいと、産業カウンセラーの資格取得。

→転職活動が難航し、FB上に「仕事を探している」と書いたところ、④-2の派遣先の上司たちが創業しており「奥田さんが仕事ができるのはわかっているから、うちで働く?」と声をかけてもらえた。

⑧ 2012/7～2013/11【東京(千葉) 2-3】

自社で自治体のWebサイトの仕事をする予定が、社長の知り合いの企業経由で、ピ

ルメンテナンス企業（業界最大手）へ特定派遣される。（契約社員だが派遣1年5か月）  
①と④の「東京の大企業」での「お客さんと直接話せる」「ゼロからシステム開発の企画を考えられる」ことが派遣先の担当者に評価され、全社「モバイル&クラウドを活用した働き方改革」企画のうち、副社長（営業統括）直轄案件「営業支援システム」のプロジェクトマネージャーとなる。

→ 「iPad を 1000 台導入しちゃったから何とかして」というところから、世の中に出始めた「iPad」「Google」など最先端の技術について勉強し、当時はまだ他社はやっていなかったシステムを開発した。その頃 mixi に移行した「転勤族の妻の会」200 名をマネジメントしていたおかげで、チームマネジメントもすんなりできた。

#### ⑨ 2014/1 個人事業主として起業、2014/3 TKT48 開始、2014/4～2018/3【埼玉県北】

次は地方転勤だと思い、今まで地方での転職に苦労したため、IT コンサルタントとして起業。ついでに、mixi でやってきた転妻会を FB に移行し、TKT48 発足。しかし、転勤辞令は「埼玉」。

##### ⑨-1 (2014年)

ところが、ほとんど群馬県に近い埼玉県北は IT リテラシーが低く、お店の Web サイトやブログすらない状態なので「中小企業の経営者に IT を活用した働き方改革」コンサルの仕事はできそうにない。また、会社の肩書がない個人は、中小企業の人に相手にされないことも知る。

→ 同時期、NHK「あさイチ」の取材どころか、スタジオ生出演することに。それ以降、ほぼ毎月取材依頼があり、対応に追われて IT コンサルタントとしての仕事ができず。

→ 2014 年から国が「地方創生」「女性活躍推進」「働き方改革」といった政策を続けて施行してくれたおかげで、国や都道府県が企業に発注し「女性の起業/会社員復帰支援」の無料 or 格安セミナーが、東京から開始される。都内まで2時間+交通費がかかるが、このチャンスを逃してはならない！と、ほぼ毎週東京に行って起業・創業や組織運営について学ぶ。

##### ⑨-2 (2015年)

ほぼ毎週セミナー&取材対応で東京まで2時間かけて行くのは疲れたので、2015 年は埼玉大宮（大宮なら1時間）でのセミナーに参加。TKT48 で、水戸市役所とコラボし「水戸みやげパンフ」作成。TKT48 の規模が大きくなってきたので「転勤族の妻の会」「転勤族協会」に分ける。

##### ⑨-3 (2016年)

⑧で1万人企業の副社長&営業戦略部部長とやり取りしていたため、埼玉のママ団体

が熊谷で開催した交流会で出会ったミサワホームのママ営業さん&営業部長と意気投合し、「ホーム&マネー講座」「てんつまホーム」企画が始まる。ほぼ毎週セミナー&打ち合わせで東京へ。名古屋・大阪出張もあり、相変わらずの取材対応で疲労困憊。11月の日テレ「NEWS ZERO」放映後の企業からの問い合わせ対応で、疲労はピークに。  
→ なるべく埼玉に引きこもろうと、熊谷のプチ起業セミナーに参加。  
→ 来年4月は東京転勤だろうと思い、FBに「東京に戻ったらTKT48の経験を生かして、地域で頑張る人を応援するNHKで働きたい!」と書いたところ、リモートワーク人材企業の中川社長に「うちで働かない?」とスカウトされる。しかし、当時は行政・企業対応で多忙のため保留。

#### ⑨-4 (2017年)

残念ながら埼玉残留。2500名と中堅企業の規模になったTKT48は、上下関係のないホラクラシー型組織としては安定運営しているが、専業主婦も多いため企画書を作成できるメンバーがおらず、仕事を請けてTKT48運営費を捻出することもできず、300万の赤字(ほとんどが都内までの交通費)を前に、ボランティア疲れして途方に暮れる。

→ TKT48は「転妻の居場所」の安定運営+「転妻コラム」を毎月発注してくれたリロケーション・インターナショナルの仕事だけにして、仕事を探そうとした時に、テレビで「複業」特集を見る。同時に、スカウトしてくれたリモートワーク人材企業キャスターの求人ブログを見て、「在宅で仕事ができるリモートワーク、フリーランス(ITコンサルタント/TKT48)と会社員の複業OKなら、埼玉県北にいながら仕事ができるかも?」と思い、中川社長に「話を聞かせて下さい」と職務経歴書を送って面談約束。面談当日、採用決定。

→ マーケティング部に所属し、TKT48で描いていたけれどメンバーのスキル不足で諦めていた、「転勤族の妻の会」「転勤族協会」に続く次のステップを企画。TKT48と温度感・スピード感・方向性が全く同じなので、入社初日になじみ、3日目にはあれこれ口出し開始。

→ キャスターの採用担当は、たまたまTKT48チーム関西メンバー。元々大企業にいて仙台転勤時に東日本大震災に遭遇。会社を辞め、別居婚の夫がいる兵庫県姫路市に行き職探しするも、やりがいのある仕事がなく落胆した時に、キャスターを見つけて参画。奥田の入社初日の面談で、互いに社員ではなく転妻として意気投合し、「キャスターとTKT48で全国の総合職転妻を救おう!」と誓い合った。

## ⑩ 2018/4～【東京3】

### ⑩-1 (2018年)

フルリモートワークで働くことができるキャスターで仕事をしていたおかげで（週3契約社員・広報部）、東京に引っ越しても仕事を続けることができた。しかし、「SNSの次は、動画+音+歌で地域をPR!」とシンガーのオーディションに応募し合格したため、引越と音楽活動と仕事を両立するため、2018/4から「月30時間の業務委託」契約に。流行り始めたRPA（ロボットを使った業務自動化）の調査～テスト導入担当となる。

→ 人材企業の社内で調査していただけではRPAの全貌が分からず、また、音楽活動の方で「埼玉県本庄市のねぎ『本庄美人』のPRソングを歌って」という依頼も来たため、一度キャスターを離れて、RPA女子プロジェクト1期生として受講&3期生のチームリーダーをしつつ、音楽活動に専念する。

### ⑩-2 (2019年)

RPAの勉強と『本庄美人』レコーディング&CM動画が完成したところで、社会ではAIも登場してきた。企業の働き方改革（業務改革）の流れを追ううちに、「業務の中でも、全国海外展開の大企業総合職にだけある『転勤』という業務を何とかしたい」「それができれば、総合職転妻がキャリアを断念しなくて済むのではないか」「それは、介護離職問題等の解決の糸口になるのではないか」と思い、人材をベースに労働革命を目指すキャスターに戻ろうと思いつく。

## 2. 「キャリア」の定義

「キャリア」とは、人生経験。

私の場合は、さらに以下の3つに分けて考えています。

### ①「ライフキャリア」

※この経験を積むことにより「ライフスキル」が得られる。以下同様。

・自分のため、子どもや家族のために行った人生経験。

→ TKT48の各チームに参加する。ランチ会に参加して友達を作る。

### ②「ソーシャルキャリア」

・自分や家族の人以外の、ママ友・学校関連の人・ご近所の人・地域の人等と一緒に、みんなのために行った人生経験。

・子育てサークル・PTA・地域活動・NPO等での「ボランティア・非営利活動」はこちら。

→ 自分と同じように不安な気持ちで TKT48 に参加してくれた後輩転妻のために、ランチ会を開催する。【企画力 UP】

→ 昔からお世話好きなので、TKT48 チームのお世話役やリーダーになって、チームをまとめる。【管理力 UP】

### ③ 「ワークキャリア」

・会社員として／起業して／またはその練習として、企業や行政の仕事を通じて、社会（地域経済、日本経済）のために行った人生経験。

・行政からの補助金・助成金に一切頼らずに自立できた、市民活動団体（TKT48 など）や NPO はこちら。

→ 企業や行政とのコラボ企画にチャレンジする。

→ TKT48 広報部に参加して、FB ページやブログに地域情報を投稿して、全国に発信する。

#### 【広報力 UP】

ただいま、リロケーション・インターナショナルの留守宅オーナー（転勤族）向けの「転妻コラム」執筆中。

## 3. 企業や行政が評価して下さった「TKT48」という地域活動、および「転勤族の妻」のスキル

### ① 水戸市役所×チーム茨城×美術部・広報部「水戸みやげパンフ」

・半分住民、半分観光客の「よそもの」視点での、地域の魅力再発見

・デザイン会社出身の転妻によるパンフデザイン力【専門職】

・茨城、山梨、埼玉、静岡のメンバーによる「リモートワーク」での作業

・TKT48 メディアによる、全国への発信力

### ② ミサワホーム×不動産部「てんつまホーム（胸キュン住まい）」

・当初は「引っ越しを繰り返して身についた、整理収納スキル」を期待していたが…

・それ以上に、元々愛知のハウスメーカーで戸建設計をしていた、「プロ」のスキル【専門職】

### ③ リロケーション・インターナショナル×広報部「転妻コラム」

・広報部メンバーとして FB に投稿するだけではなく、自ら文章講座に通い、自治体や企業のおでかけ情報サイトに投稿できるレベルになったメンバーをスカウト【素人から、専門職に】

・留守宅管理オーナー様（転勤族が7割）向けに、CS（顧客満足）の観点で「転妻のリアルな声」

・オーナー様以上に、転勤族を相手に仕事をされている社員の方に「転妻の実態がわか

る」と大好評

→ グループ会社の「リロ・エクセル インターナショナル」社の、企業の海外人事担当向けサイト「海外赴任 LAB」の「駐在妻コラム」執筆も依頼される。海外赴任中の駐在妻のリアルな声が大好評

④ キャスター×キャリア企画部

- ・リモートワーク人材企業キャスターは、2014/9 創業と、TKT48 の半年後にスタート。
- ・2015/3 に TKT48 メンバーの転妻社労士が務める事務所の先生の紹介でお会いし話を聞く。そこから FB で交流。
- ・今回、奥田をスカウトした一番の理由は「自社と同じくらいの温度感・スピード感で組織を拡大していること」。ついでに、企画力・広報力。

4. 夫の転勤や子育てで「3年」ワークブランクが空いても、会社員に復帰するために必要なスキル

TKT48 での経験	ライフスキル	ソーシャルスキル	ワークスキル
① ランチ会参加 (10人に9人)	友達づくり	コミュニケーション力	面談、入社後新しい職場に早くなじむ
② ランチ会開催 (10人に1人)	みんなを巻き込む	企画力、調整力	会議や接待等アポイント調整
③ 広報部 (30人に1人)	みんなに伝える	広報力	広報 PR ★会社員復帰!
④ チーム運営 (30人に1人)	みんなをまとめる	管理力	ファシリテーター型リーダー
⑤ 組織運営 (本部) (100人に1人)	みんなのお母ちゃん	包容力、引率力	マネージャー、バックオフィス
⑥ 法人営業 (500人に1人)		企画提案・見積り力	営業職